

製品名	ウルラルーフ 屋根用耐候性強化色
種別	ウルトラハイソリッド無機塗料
荷姿	15kg
用途	一般屋根
適用基材	コロニアル、カラーベスト、波形スレート、セメント瓦、乾式洋瓦、釉薬瓦、カラー鋼板、フッ素鋼板、ガルバリウム鋼板、塩ビ鋼板、亜鉛メッキ鋼板、アルミニウム、ステンレスなど

工程	材料	割合	所要量 / m ² / 回 (塗布面積 / 缶 / 回)	施工器具	塗回数	間隔時間 (23°C)	可使時間 (23°C)	
素地調整	①下地に付着しているゴミ・ホコリ・油脂類・異物は取り除いてください。 ②劣化した既存塗膜は、電動工具・手工具を用いてケレン除去してください。 ③塗装面周辺は、汚れや損傷を与えないように養生紙や養生テープ等で完全養生してください。							
下塗り	下地に応じた下塗り材をご使用ください。							
中塗り	セラベース [油性タイプ] (屋根用耐候性強化色)	主剤	13kg	0.12~0.16kg (93~125㎡)	刷毛 中毛ローラー	1	3時間以上 7日以内	5時間以内
		硬化剤	2kg					
	PXシンナー	0~3%						
上塗り	ウルラルーフ (屋根用耐候性強化色)	15kg		0.12~0.15kg (100~125㎡)	ウルトラローラー	1	(5時間以上 3日以内)	—
		PXシンナー	0~5%					

注意事項

- 塗料の使用期限は未開封の状態です。水性製品6ヶ月、油性製品12ヶ月です。開封後はなるべく早めに使いきってください。
- ウルラルーフは空気に触れると反応が始まりますので、余った塗料の使いまわしはせずに、開封後2週間を目途に使いきってください。反応が進んだ塗料を使用すると、付着力の低下や仕上がりが不良など本来の性能を得られない恐れがあります。
- インテグラルコートを使用するとウルラルーフが溶解する恐れがあります。保護コーティングには必ずウルトラTOPを使用してください。
- ウルトラTOPを使用した場合、ウルラルーフ本来の艶感、鮮映性を得られない場合があります。
- 各種屋根材への適用下塗り材はお問合せください。
- 乾式洋瓦はデッキブラシ等を併用しながら高圧洗浄し、着色スラリー層が除去できていることを確認したうえで無機有機ハイブリッドEPOを2回塗りしてください。
- 中塗りにセラベースを使用せず、ウルラルーフの2回塗りでも問題ありません。
- セラベース[油性タイプ]は2液反応硬化形ですので、主剤と硬化剤の割合を守り混合し、十分に攪拌してください。
- ウルラルーフをご使用の際は内容物が均一になるように十分に攪拌してください。
- 所要量は厳守してください。所要量が少ない場合、耐久力の低下、色相の違い、隠ぺい力が低下する恐れがあります。
- コロニアル、カラーベスト等の重なり部分に塗料が付着し詰まっている箇所は皮すき・カッター等で除去してください。漏水の原因になります。
- セラベース[油性タイプ]及びウルラルーフは弱溶剤形のため取り扱いの際は火気に注意し、消防法及び労働安全衛生法等を遵守してください。
- 素地調整や水洗いが不十分だと剥離や光沢が出ない等の本来の塗膜性能を発揮出来ない恐れがあります。塗替えでは必ず高圧洗浄やブラシ等を使い、付着物や劣化塗膜を十分に除去してください。
- 水洗い後は日数を空け十分に乾燥させてください。また塗装面が雨や霧等で濡れている場合は、十分に乾燥するまで塗装しないでください。
- 施工環境が気温5°C以下の場合・湿度85%RH以上の場合・結露が発生する可能性がある場合・外部の施工で降雨が予想される場合、常に結露が発生する地域・時期・場所での施工は避けてください。
- 工程間の間隔時間は使用を厳守し、降雨後は下地や主剤の乾燥時間を確認してから塗装してください。
- ご使用の際は各商品の容器に記載されている注意事項をよく守ってください。又、詳細な内容は、安全データシート(SDS)をご確認ください。